



2019年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年6月27日

上場会社名 (株)クラウディアホールディングス
 コード番号 3607 URL <https://www.kuraudia.holdings/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 倉 正治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 安田 佳悟

TEL 075-315-2345

四半期報告書提出予定日 2019年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第3四半期の連結業績(2018年9月1日～2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	9,576	0.9	642	33.5	699	35.1	510	83.6
2018年8月期第3四半期	9,665	1.1	481	24.5	517	23.3	278	68.9

(注) 包括利益 2019年8月期第3四半期 507百万円 (101.7%) 2018年8月期第3四半期 251百万円 (73.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	58.76	
2018年8月期第3四半期	32.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年8月期第3四半期	13,060	6,117	46.8	702.06
2018年8月期	12,107	5,725	47.3	660.64

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 6,117百万円 2018年8月期 5,725百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期		8.00		8.00	16.00
2019年8月期		8.00			
2019年8月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年8月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当8円00銭 記念配当2円00銭

3. 2019年8月期の連結業績予想(2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	2.1	260	32.5	300	11.0	150		17.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年8月期3Q	9,689,200 株	2018年8月期	9,689,200 株
期末自己株式数	2019年8月期3Q	975,523 株	2018年8月期	1,023,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年8月期3Q	8,694,677 株	2018年8月期3Q	8,666,194 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料については、2019年6月27日に当社ホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年8月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当企業グループは、婚礼衣装メーカーとして“ものづくり”をコアとしつつ、より最終消費者に近く、より大きなマーケットである挙式関連サービス事業領域(B to C)の開拓を推進し、当企業グループの市場拡大に向け引き続き注力しております。

当第3四半期連結累計期間に行った事業展開のうち主なものは、次のとおりであります。

写真・映像事業において、2019年3月1日を効力発生日とする内田写真株式会社からの会社分割、株式会社有賀写真館からの事業譲渡の2つの事業承継案件を実施いたしました。

また、リゾート挙式事業においては、「ダイヤモンドヘッド・アナラ・ガーデン」(米国ハワイ州)の、全面改装を行い、2019年5月に新名称「アイネス ヴィラノツェ ワイキキレイア」としてリニューアルオープンいたしました。

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間における事業部門別売上高の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

以下の売上高の数値につきましては、事業部門内及び事業部門間の取引消去後となっております。

(単位: 百万円)

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	増減	増減率 (%)
ホールセール事業部門 売上高	2,628	2,504	△123	△4.7
製・商品売上高	1,667	1,404	△263	△15.8
レンタル収入等	961	1,100	139	14.5
コンシューマー事業部門 売上高	7,037	7,071	34	0.5
衣裳取扱収入	2,764	2,749	△15	△0.6
リゾート挙式売上高	2,033	1,632	△401	△19.7
式場運営収入	1,807	1,957	149	8.3
写真・映像・美容売上高	431	733	301	69.9
連結売上高	9,665	9,576	△89	△0.9

(ホールセール事業部門)

製・商品売上高は1,404百万円(前年同期比15.8%減)、レンタル収入等は、前連結会計年度に取扱いを開始した有名ブランドドレスの売上寄与やリース事業(貸衣装店向けレンタル)が堅調に推移したことから1,100百万円(同14.5%増)となりました。この結果、ホールセール事業部門の売上高は前年同期に比べ123百万円減少し2,504百万円(同4.7%減)となりました。

(コンシューマー事業部門)

衣裳取扱収入は2,749百万円(同0.6%減)とほぼ前年同期並みとなりました。式場運営収入は施行組数合計が526組と前年同期より48組増加したことから1,957百万円(同8.3%増)と堅調に推移しました。写真・映像・美容売上高は、事業承継案件の売上寄与もあり733百万円(同69.9%増)と前年同期に比べ大幅な増収となりました。

一方で、リゾート挙式売上高は、2018年2月にオープンいたしました「グラン・ブルーチャペル カヌチャベイ」(沖縄県名護市/カヌチャベイホテル&ヴィラズ敷地内)の売上寄与があったものの、2018年12月末をもって挙式取扱いを廃止いたしましたグアム地域をはじめ、ハワイ地域や「アイネス ヴィラノツェ 沖縄」(沖縄県名護市)など総じて苦戦し、1,632百万円(同19.7%減)と前年同期に比べ大幅な減収となりました。

この結果、コンシューマー事業部門の売上高は前年同期に比べ34百万円増加し7,071百万円(同0.5%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,576百万円(同0.9%減)と前年同期に比べ若干の減収となりました。一方、利益面では、営業利益は642百万円(同33.5%増)、経常利益は699百万円(同35.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は510百万円(同83.6%増)と前年同期に比べ大幅な増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ254百万円増加し、3,230百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金236百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ698百万円増加し、9,830百万円となりました。これは主に、有形固定資産387百万円、差入保証金378百万円の増加によるものであります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ953百万円増加し、13,060百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ635百万円増加し、3,934百万円となりました。これは主に、短期借入金590百万円、賞与引当金122百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、3,008百万円となりました。これは主に、長期未払金399百万円の増加、役員退職慰労引当金399百万円の減少によるものであります。

なお、当社は従来、役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく要支給額を役員退職慰労引当金として計上しておりましたが、2018年11月27日開催の第42回定時株主総会において役員退職慰労金制度廃止に伴う取締役に対する打ち切り支給に関する議案が決議されました。これに伴い、役員退職慰労引当金を全額取り崩し、打ち切り支給額を長期未払金として計上しております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ561百万円増加し、6,943百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ392百万円増加し、6,117百万円となりました。これは主に、利益剰余金371百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は46.8%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2018年9月28日発表の業績予想を変更しておりません。

なお、当企業グループにおいては、事業の性質上、第1四半期(9月から11月)及び第3四半期(3月から5月)の婚礼シーズン時期に、売上高、利益が偏重する傾向があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,034,067	1,053,172
受取手形及び売掛金	983,324	1,219,916
商品及び製品	182,441	154,615
仕掛品	78,263	93,554
原材料	213,382	225,659
貯蔵品	100,166	96,446
その他	393,281	395,030
貸倒引当金	△9,421	△7,938
流動資産合計	2,975,505	3,230,456
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,156,619	6,391,206
減価償却累計額	△3,967,256	△4,048,374
建物及び構築物(純額)	2,189,363	2,342,831
機械装置及び運搬具	451,560	460,970
減価償却累計額	△367,854	△379,664
機械装置及び運搬具(純額)	83,706	81,305
工具、器具及び備品	823,058	945,611
減価償却累計額	△736,374	△772,442
工具、器具及び備品(純額)	86,684	173,168
レンタル衣裳	573,366	494,858
減価償却累計額	△321,582	△246,975
レンタル衣裳(純額)	251,783	247,882
土地	2,548,339	2,702,099
有形固定資産合計	5,159,878	5,547,288
無形固定資産		
ソフトウェア	—	6,577
借地権	13,280	12,823
その他	7,756	10,274
無形固定資産合計	21,036	29,675
投資その他の資産		
投資有価証券	45,300	43,860
保険積立金	303,050	315,888
差入保証金	2,485,526	2,864,243
繰延税金資産	674,536	661,844
その他	477,158	399,981
貸倒引当金	△34,960	△32,258
投資その他の資産合計	3,950,611	4,253,559
固定資産合計	9,131,526	9,830,522
資産合計	12,107,032	13,060,979

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	432,974	424,718
短期借入金	360,000	950,000
1年内返済予定の長期借入金	959,110	888,206
リース債務	30,170	30,341
未払法人税等	145,211	150,297
賞与引当金	125,385	248,271
役員賞与引当金	—	7,470
その他	1,246,294	1,235,515
流動負債合計	3,299,145	3,934,820
固定負債		
長期借入金	2,367,974	2,286,477
長期末払金	5,727	404,754
リース債務	29,046	30,784
役員退職慰労引当金	399,461	—
繰延税金負債	552	730
資産除去債務	246,749	253,056
その他	33,173	32,820
固定負債合計	3,082,684	3,008,622
負債合計	6,381,829	6,943,442
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,071,590	1,071,590
資本剰余金	1,228,876	1,223,681
利益剰余金	3,811,890	4,183,793
自己株式	△623,395	△594,451
株主資本合計	5,488,962	5,884,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,956	2,218
為替換算調整勘定	232,284	230,703
その他の包括利益累計額合計	236,240	232,922
純資産合計	5,725,202	6,117,536
負債純資産合計	12,107,032	13,060,979

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
売上高	9,665,770	9,576,312
売上原価	2,751,708	2,308,968
売上総利益	6,914,061	7,267,343
販売費及び一般管理費	6,432,910	6,625,173
営業利益	481,151	642,170
営業外収益		
受取利息	8,768	7,608
受取配当金	236	258
受取賃貸料	7,558	6,428
受取手数料	11,640	12,352
受取保険金	2,478	30,236
貸倒引当金戻入額	1,651	2,722
助成金収入	5,546	7,009
その他	13,084	18,309
営業外収益合計	50,963	84,925
営業外費用		
支払利息	11,949	10,615
為替差損	1,991	16,326
その他	322	699
営業外費用合計	14,262	27,641
経常利益	517,852	699,455
特別利益		
固定資産売却益	23,839	955
関係会社株式売却益	—	40,026
保険解約返戻金	5,304	—
特別利益合計	29,143	40,982
特別損失		
固定資産売却損	360	—
固定資産除却損	348	1,184
保険解約損	125	—
減損損失	66,594	—
特別損失合計	67,428	1,184
税金等調整前四半期純利益	479,567	739,252
法人税、住民税及び事業税	152,350	214,679
法人税等調整額	48,895	13,631
法人税等合計	201,245	228,311
四半期純利益	278,321	510,941
親会社株主に帰属する四半期純利益	278,321	510,941

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	278,321	510,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203	△1,737
為替換算調整勘定	△26,879	△1,580
その他の包括利益合計	△26,676	△3,318
四半期包括利益	251,645	507,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	251,645	507,623
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当企業グループは単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。